

Market Watching

市場レポート

テーマ: Weekly Market Report (2006年5月15日～)
～ドル安歯止めには当局などのコメントが必要～

発表日: 2006年5月15日 (月)

第一生命経済研究所 経済調査部
担当 鷹峰 義清 (03-5221-4521)

今週のスケジュール

今週の経済指標・イベント・注目材料

発表日	国	指標・イベント	注目度	コンセンサス	レンジ	前回	備考
5月15日(月)	日本	企業物価指数(4月)・国内	★	+0.4%	+0.1～+0.9%	0.0%	前月比
		国際収支(3月)・経常収支		20,175	18,170～24,831	22,087	億円・未季調
		機械受注(3月):除船電・民需	★★★	+0.4%	▲4.9～+2.5%	+3.4%	前月比
		福井日銀総裁講演	★★★				
	欧州	—					
5月16日(火)	米国	NY連銀製造業景気指数(5月)	★	15.0	+9.5～+20.0	15.8	
		対米証券投資(3月)		+800	+685～+850	+869	億ドル
5月16日(火)	日本	消費動向調査(4月)・消費者態度指数		49.8	48.5～49.9	47.9	
		5年債入札					
		月例経済報告					
	欧州	独ZEW景況指数(5月)・期待指数	★	60.0	40.0～65.0	62.7	
		英消費者物価(4月)	★	+2.0%	+1.8～+2.1%	+2.4%	前年比
	米国	生産者物価(4月)・最終財	★	+0.8%	+0.4～+1.2%	+0.5%	前月比
		同コア(4月)	★★	+0.2%	0.0～+0.3%	+0.1%	前月比
		住宅着工(4月)	★★★	195.0	188.0～208.0	196.0	百万戸
		鉱工業生産(4月)	★★	+0.5%	0.0～+0.9%	+0.6%	前月比
		設備稼働率(4月)	★★	81.5%	81.2～81.8%	81.3%	
		バーナンキFRB議長講演	★★★				
		NY連銀総裁講演	★★				
5月17日(水)	欧州	欧消費者物価(4月)	★	+2.4%	+2.3～+2.4%	+2.2%	前年比
		欧鉱工業生産(3月)		▲0.3%	▲0.9～+0.3%	0.0%	前月比
		英失業率(4月)		3.0%	3.0%	3.0%	
		英MPC議事録					
	米国	消費者物価(4月)	★	+0.5%	+0.3～+0.9%	+0.4%	前月比
		同コア(4月)	★★★	+0.2%	+0.2～+0.3%	+0.3%	前月比
		ボストン連銀総裁講演	★				
5月18日(木)	日本	流動性供給入札					
	欧州	英小売売上高(4月)		+0.4%	+0.3～+0.6%	+0.7%	前月比
	米国	景気先行指数(4月)		+0.2%	▲0.1～+0.6%	▲0.1%	前月比
		フィラデルフィア連銀景況指数(5月)	★★	+12.0	+10.0～+20.0	+13.2	
		バーナンキFRB議長講演	★★★				
		ウォルシュFRB理事討論会	★				
		シカゴ連銀総裁講演	★				
		リッチモンド連銀総裁講演	★				
		アトランタ連銀総裁講演	★				
		セントルイス連銀総裁講演	★				
5月19日(金)	日本	実質GDP(10～12月期)	★★★	+0.3%	0.0～+0.6%	+1.3%	前期比
		GDPデフレーター	★★★	▲1.3%	▲1.7～▲1.0%	▲1.6%	前年比
		日銀金融政策決定会合(18日～)	★				
		福井日銀総裁記者会見	★★★				
			金融経済月報				
	欧州	仏実質GDP(1～3月期)		+0.6%	+0.5～+0.7%	+0.4%	前期比
米国	ニューヨーク連銀総裁講演	★					
	スノー財務長官スピーチ	★					
5月20日(土)		—					
5月21日(日)		—					

(注) 市場コンセンサス、予測レンジは各種バンダー調査に基づく
注目度は筆者

【債券市場】: 図表は3～4ページ

先週は、日米欧など主要国で金利は上昇した一方、日本を除くアジアでは金利は低下した国が目立った。

本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

米金利は、10日に行われたFOMCの声明文が、市場の期待に反し追加利上げの可能性に含みを持たせる内容となったことを嫌気する形で上昇基調を辿った。さらに、週末に発表された輸入物価の伸びが予想を大幅に上回るものとなったことが、最近の商品市況の上昇やドル安の動きと相俟って、インフレ加速に繋がるとの連想から、債券相場は一段安（金利は上昇）となった。

今週は、米国では主要月次統計の発表が連日続くほか、バーナンキ議長をはじめとしたFed高官のスピーチも多く、材料に事欠かない一週間となる。経済指標は、6月FOMCでの利上げの有無を判断する重要な要素となることから、これまで以上に相場に与えるインパクトは大きくなる。ただし、指標によってモメンタムが重視されるものもあれば、水準が重要なものもあるので、市場が底を冷静に見極められるかどうかは微妙。日本では、週初機械受注で始まり、週末はQEと日銀決定会合で閉まる。日本での最大の注目点は、ゼロ金利解除がいつ行われ、その後どのようなテンポで利上げされるかという点につきる。その点で、機械受注の重要度は高い。また、QEに関してはこれまで以上にデフレーターへの伸びに注目される。

【株式市場】：図表は5ページ

先週は、株は主要国を中心に下落。原油をはじめとした商品市況の上昇などから、インフレ圧力の更なる高まりを嫌気した。日本では、円高が急伸し企業の想定レートを割り込むような水準となったことから、企業活動が抑制されることが警戒されるなど、株価は大きく値下がりした。

今週は、引き続き商品市況や為替相場の動向は株価の変動主因となろう。加えて、米月次主要経済指標やFed高官の講演も、6月追加利上げの有無を量る上で注目される。日本では為替レートが最大の変動要因となろう。ただし、日米の当局者などの発言によって為替レートはどちらにも触れやすい状況のため、株価の動きも微妙。このほか、週初機械受注、福井日銀総裁のコメントが注目される。

【為替市場】：図表は6ページ

先週は、ドルが対米州通貨を除き、前週に続いてほぼ全面安。FOMC後は声明文の内容もあって、6月追加利上げ継続のリスクがやや意識される格好となったものの、G7で世界の不均衡是正と、そのための柔軟な為替相場の必要性が強調されたことが意識され、全般的にドルの軟調な推移が続いた。

今週も、ドルを中心にやや荒れた展開になる可能性がある。ファンダメンタルズ面では、米追加利上げの可能性が重要となるが、その意味では米主要月次指標の発表は多く、またFed高官の講演なども多く注目される。指標は全般的には米経済が引き続き好調に推移していることを示唆する内容となろう。また、Fed高官の発言内容も、全体としては追加利上げの有無について、特に打ち止めを強調した内容にはならない見込み。要するに、市場は6月追加利上げのリスクを若干高める公算がある。これはドル高要因となるが、相場の動きが徐々に大きくなり、且つ不均衡などが材料とされていることを勘案すれば、多少のファンダメンタルズの変化などでは、動きは止まりにくい。Fed高官や福井日銀総裁の講演が相次ぐが、その中で最近の為替相場動向などについて言及があるかどうかは焦点のひとつ。通貨当局も含めて、通り一遍の発言以外何もなければ、ドル安加速のリスクは大きい。

【商品市場】：図表は7ページ

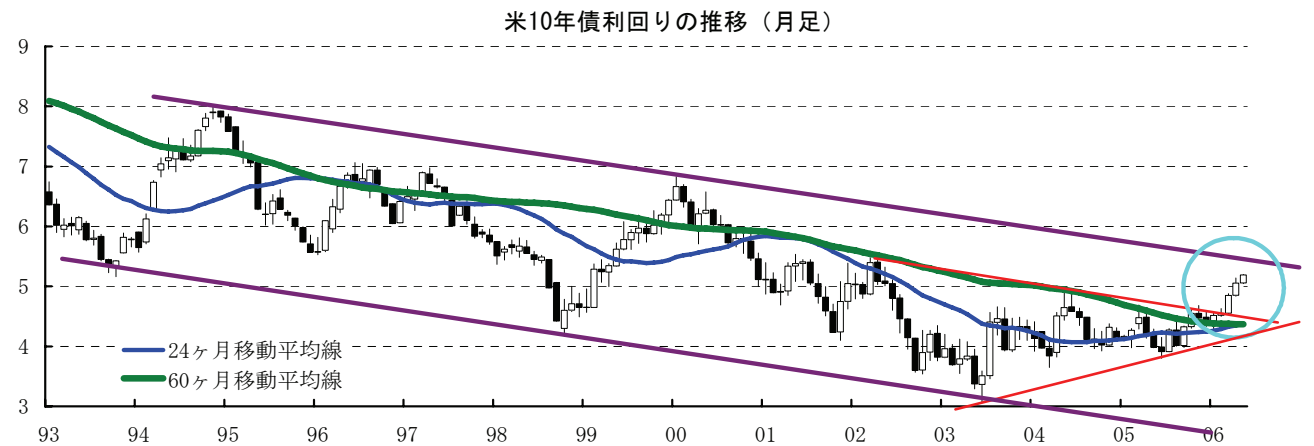
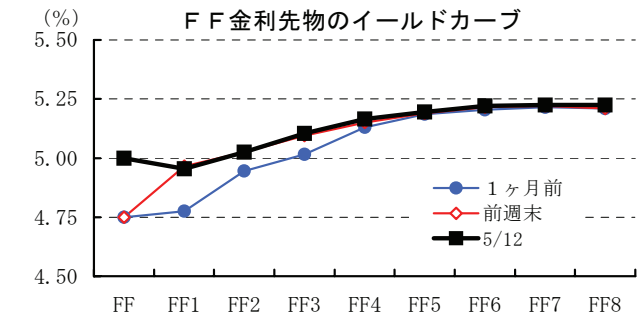
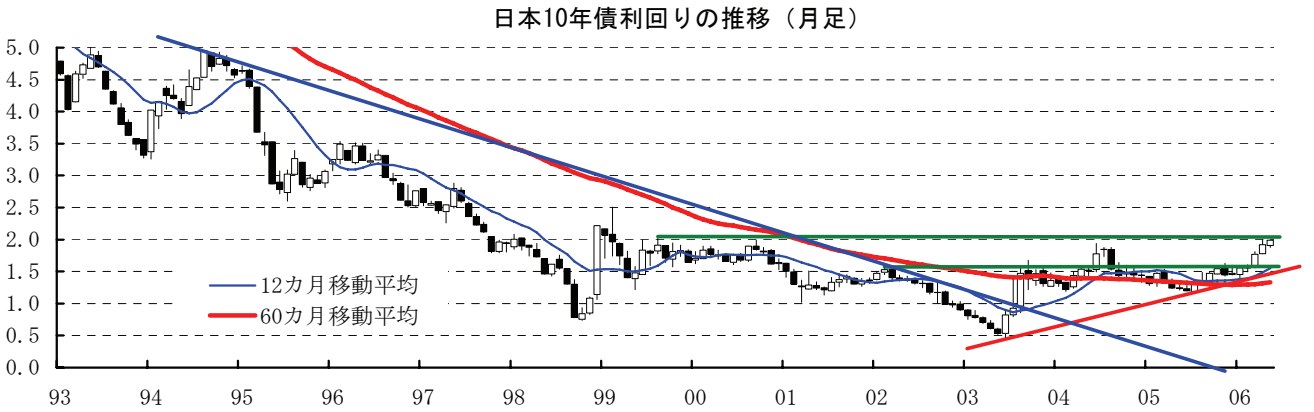
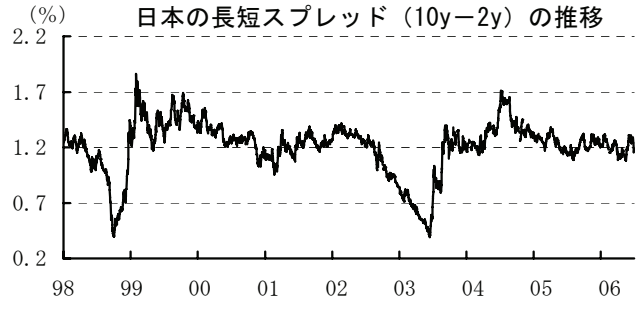
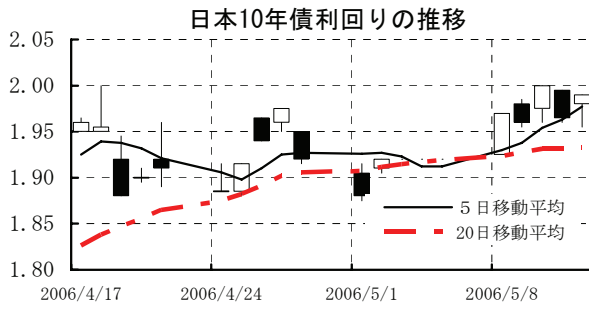
先週は、原油を含め上昇。原油は、イラン問題の緊張の高まりなどを背景に上昇。

今週は、原油価格はイラン問題などに進展が見られないようならば、現行水準でもみ合いか。ドル安の流れを受けて金の上昇が続いているが、為替相場の流れが変わらない限り、同様の展開が続こう。

[債券市場]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週間	2週間	
2年	日本	0.805	+72	+14	+15	▲6	+6	+1	+18	+22	▲1	+4	▲2
	米国	5.001	+136	+10	+8	+3	▲1	+12	+16	+14	+4	▲4	+7
	イギリス	4.810	+47	+34	+0	▲2	▲12	+13	+2	+13	+16	+11	+11
	ドイツ	3.409	+118	+12	+1	+13	+10	+9	+7	+27	+9	+6	+2
	スイス	1.999	+103	+30	+8	+14	▲11	+4	+15	+12	+8	+9	+7
	スウェーデン	3.033	+79	+6	+4	+18	+13	+30	▲13	+21	+7	+6	▲1
	ポーランド	4.458	▲85	+18	+4	+9	▲18	▲35	▲21	+15	+15	+11	+1
	カナダ	4.079	+102	▲4	▲6	+14	+8	+0	+10	+4	+14	+6	+0
	メキシコ	7.488	▲242	▲22	+16	▲25	▲42	▲28	▲19	+22	▲19	▲13	▲3
	ニュージーランド*	6.310	+14	+25	+10	N.A.	N.A.	▲19	+12	+10	+20	+12	▲1
	オーストラリア	5.738	+53	+23	+4	▲7	▲5	+4	▲1	+7	+29	+4	+9
	韓国	4.749	+97	▲17	▲26	+21	▲2	▲11	▲7	+5	▲6	▲3	+12
	シンガポール	3.020	+90	▲15	▲3	+24	+2	+7	+9	+37	▲16	+0	▲1
	タイ	5.002	+193	+17	+36	▲23	▲6	▲4	▲6	+21	+9	▲4	▲10
インド	6.447	+41	▲1	+0	+3	+7	+64	+5	▲14	▲32	+7	+3	
10年	日本	1.990	+71	+10	+8	▲10	+2	+9	+2	+19	+15	+1	▲0
	米国	5.194	+102	+22	+9	▲7	▲9	+12	+4	+30	+20	+4	+5
	イギリス	4.744	+33	+28	+6	▲10	▲13	+5	+4	+21	+24	+8	+5
	ドイツ	4.081	+75	+20	+8	+6	▲15	+16	+2	+28	+18	▲0	+5
	スイス	2.848	+83	+32	+12	+6	▲19	+20	+6	+25	+22	+7	+2
	スウェーデン	3.995	+63	+18	+7	+10	▲8	+18	▲8	+28	+21	+2	+4
	ポーランド	5.214	▲20	+20	+11	+2	▲23	▲5	▲43	+37	+18	+14	▲6
	カナダ	4.459	+36	+6	+0	▲11	▲8	+19	▲4	+14	+21	+1	▲1
	メキシコ	8.568	▲175	▲24	+12	▲32	▲36	▲6	▲37	+65	+5	▲9	▲10
	ニュージーランド*	5.845	+1	+6	+3	▲11	▲12	+10	▲7	▲6	+3	▲12	+9
	オーストラリア	5.823	+49	+27	+3	▲10	▲18	+15	▲6	+13	+29	+4	+9
	韓国	5.170	+64	▲34	▲9	+21	▲12	▲18	▲21	+21	▲20	▲18	+1
	シンガポール	3.460	+51	▲15	▲6	+19	▲1	+14	+15	+9	▲8	+1	+1
	タイ	5.474	+125	▲19	▲5	▲52	▲60	+7	▲21	+5	+23	▲14	▲1
インド	7.548	+36	▲3	+2	▲2	+3	+17	+8	+19	▲15	▲2	+13	
長短スプレッド	日本	+118.5	▲2	▲3	▲7	▲4	▲4	+8	▲15	▲3	+17	▲3	+1
	米国	+19.3	▲34	+12	+2	▲10	▲9	+1	▲12	+16	+16	+8	▲2
	イギリス	▲6.6	▲14	▲6	+6	▲9	▲1	▲8	+2	+8	+8	▲3	▲6
	ドイツ	+67.2	▲43	+8	+6	▲7	▲25	+6	▲4	+1	+9	▲7	+4
	スイス	+84.9	▲20	+2	+5	▲8	▲8	+16	▲9	+14	+14	▲2	▲6
	スウェーデン	+96.2	▲16	+12	+3	▲8	▲22	▲12	+5	+7	+14	▲4	+5
	ポーランド	+75.6	+65	+3	+7	▲7	▲6	+30	▲22	+22	+3	+3	▲8
	カナダ	+38.0	▲65	+10	+6	▲25	▲16	+19	▲14	+10	+6	▲5	▲1
	メキシコ	+108.0	+67	▲2	▲4	▲7	+6	+22	▲18	+43	+24	+4	▲7
	ニュージーランド*	▲46.5	▲12	▲19	▲6	#VALUE!	#VALUE!	+29	▲19	▲16	▲17	▲24	+10
	オーストラリア	+8.5	▲4	+4	▲0	▲3	▲13	+11	▲5	+5	▲1	+0	+0
	韓国	+42.1	▲33	▲18	+17	+0	▲10	▲6	▲14	+16	▲13	▲15	▲11
	シンガポール	+44.0	▲39	+0	▲3	▲5	▲3	+7	+6	▲28	+8	+1	+2
	タイ	+47.2	▲68	▲36	▲41	▲29	▲55	+11	▲14	▲17	+14	▲10	+9
インド	+110.1	▲5	▲2	+2	▲5	▲4	▲47	+2	+33	+18	▲8	+10	

(注) 「変化幅」は、直近値までの変化幅。プラスは金利の上昇を示す。
「過去の動き」は当該期間の変化幅(例: 4週間=4週間前の週間変化幅、6カ月前=6カ月前の月間変化幅)を示す。
直近値の単位は%、ただし長短スプレッドはbp。直近値以外の単位はbp。
網掛け太字は当該期間で最も低下幅の大きい(上昇幅の低い)金利、太斜字は最も上昇幅の大きい(低下幅の低い)金利を示す。



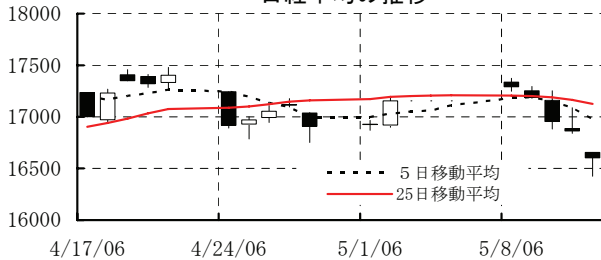
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[株式市場]

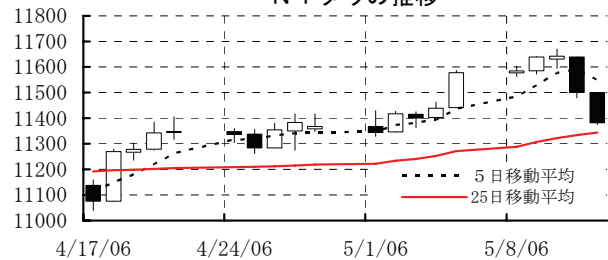
	直近値	直近までの変化率			過去の動き								
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間			
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前	
日本	日経平均	16601.78	+49.9	▲3.3	▲3.2	+9.3	+8.3	+3.3	▲2.7	+5.3	▲0.9	▲2.9	+1.5
	TOPIX	1688.18	+48.0	▲3.1	▲2.8	+6.3	+7.4	+3.7	▲2.9	+4.1	▲0.7	▲2.3	+1.2
	日経店頭	2580.97	+29.2	▲4.7	▲1.3	+6.4	+13.1	+3.9	▲7.0	+2.2	▲1.9	▲0.6	+0.3
米国	NYダウ	11380.99	+11.7	+2.3	▲1.7	+3.5	▲0.8	+1.4	+1.2	+1.1	+2.3	+0.2	+1.9
	S P500	1291.24	+11.4	+0.2	▲2.6	+3.5	▲0.1	+2.5	+0.0	+1.1	+1.2	▲0.1	+1.2
	ナスダック	2243.78	+14.3	▲3.1	▲4.2	+5.3	▲1.2	+4.6	▲1.1	+2.6	▲0.7	▲0.9	+0.9
	フィラデルフィア半導体	491.62	+23.8	▲2.9	▲7.1	+11.3	▲0.4	+12.4	▲3.0	▲4.5	+3.5	▲0.3	+2.3
イギリス	F T100	5912.10	+20.8	▲1.5	▲2.9	+2.0	+3.6	+2.5	+0.5	+3.0	+1.0	▲1.8	+1.1
ドイツ	D A X	5916.28	+38.7	+0.3	▲3.2	+5.4	+4.1	+4.9	+2.1	+3.0	+0.7	▲1.4	+1.7
欧州	ダウ欧州50	3475.24	+21.5	▲0.9	▲2.8	+2.0	+2.6	+2.9	+0.7	+1.1	+0.8	▲1.2	+1.2
スウェーデン	ストックホルムOMX	1013.69	+31.6	▲3.4	▲4.0	+3.2	+5.4	+0.2	+3.4	+6.5	▲2.2	▲2.4	+1.8
ポーランド	ワルシャワWIG	45390.27	+75.7	+8.6	+0.7	+5.9	+4.9	+6.3	+2.6	+3.5	+9.4	+0.0	+2.4
ロシア	R T	1681.07	+159.1	+7.7	▲3.9	+10.9	+8.5	+16.9	+10.4	▲1.3	+15.5	+2.5	+5.6
メキシコ	ボルサ	21154.90	+69.9	+9.5	▲0.4	+6.8	+5.8	+6.2	▲1.1	+3.0	+7.1	+2.3	+2.9
ブラジル	ボベスパ	40211.97	+66.7	+4.6	▲2.9	+5.7	+4.8	+14.7	+0.6	▲1.7	+6.4	+1.5	+2.6
アルゼンチン	メルバル	1806.68	+30.0	▲2.3	▲4.6	▲3.4	▲0.7	+16.2	▲4.5	+5.0	+6.0	▲0.5	▲0.7
N Z	ニュージーランドSX50	3680.89	+25.2	▲2.2	+0.7	+0.4	+1.6	▲0.6	+1.4	+9.0	+2.5	+2.6	▲3.7
オーストラリア	A S200	5329.50	+32.3	+2.8	+1.4	+3.9	+2.8	+3.5	▲0.2	+4.2	+2.5	+0.2	▲0.1
香港	ハンセン	16901.85	+21.0	+3.6	▲0.7	+3.8	▲0.4	+5.9	+1.0	▲0.7	+5.4	▲1.5	+2.1
韓国	総合	1445.20	+56.9	+4.5	+0.3	+12.0	+6.3	+1.5	▲2.0	▲0.9	+4.4	▲2.2	+1.5
台湾	加権	7278.96	+22.7	+6.9	▲1.2	+7.6	+5.6	▲0.2	+0.5	+0.8	+8.4	+2.0	+2.8
シンガポール	S T	2620.58	+20.1	+2.9	▲0.4	+3.8	+2.0	+2.8	+2.9	+2.1	+3.1	+0.3	+0.8
タイ	S E T	782.50	+14.7	+3.6	+1.9	▲2.1	+6.9	+6.9	▲1.9	+2.4	+0.3	▲0.6	▲0.0
インド	ムンバイSENSEX30	12285.11	+90.3	+8.2	▲0.6	+11.4	+6.9	+5.6	+6.4	+6.9	+5.1	▲1.5	+4.3
中国	上海A	1682.74	+45.2	+18.0	+11.3	+0.6	+5.7	+8.0	+3.9	▲0.7	+11.0	+1.7	+0.0

(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは株価の上昇を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)株価、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)株価を示す。

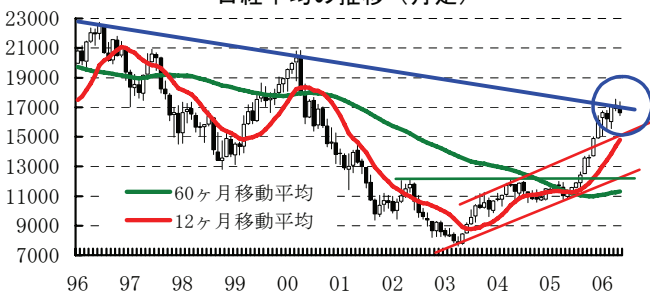
日経平均の推移



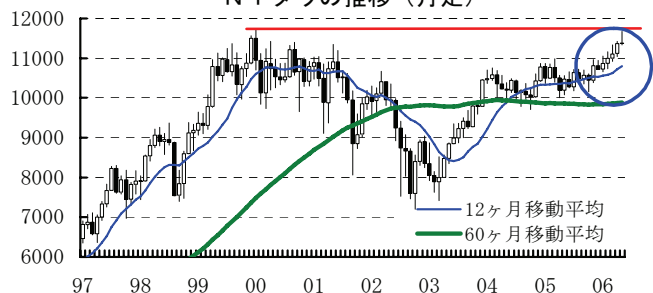
NYダウの推移



日経平均の推移(月足)



NYダウの推移(月足)



ナスダックの推移(月足)



ダウ欧州50の推移(月足)



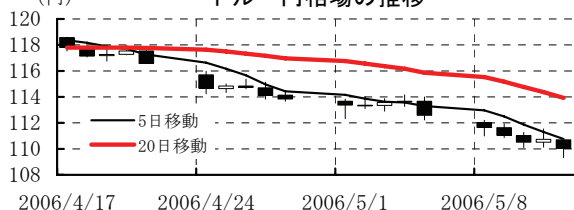
本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[為替]

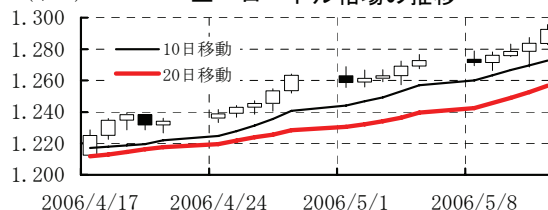
	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
日本円	110.02	▲3.0	+7.2	+2.3	▲2.9	+1.7	+0.5	+1.2	▲1.7	+3.4	+2.4	+1.1
ユーロ	1.2926	+1.8	+6.8	+1.6	▲1.7	+0.5	+2.6	▲1.9	+1.7	+4.3	+2.4	+0.7
イギリスポンド	1.8947	+1.6	+8.3	+1.9	▲2.3	▲0.4	+3.3	▲1.4	▲0.9	+5.1	+2.5	+1.8
スイスフラン	1.1976	+1.5	+7.8	+2.3	▲2.1	+0.1	+2.7	▲2.6	+0.6	+5.0	+2.9	+1.0
スウェーデンクローナ	7.2455	▲0.6	+6.1	+1.0	▲1.5	+1.7	+4.4	▲4.3	+1.5	+5.7	+2.8	+0.4
ポーランドズロチ	3.0116	+7.1	+7.2	▲0.1	▲0.3	+2.2	+3.0	▲0.8	▲2.0	+5.4	+2.5	+1.7
ロシアルーブル	26.901	+3.4	+2.9	+0.7	▲0.8	+0.2	+2.3	+0.2	+1.2	+1.9	+1.1	+0.3
カナダドル	1.1096	+11.3	+3.3	▲0.4	+1.4	+0.3	+2.0	+0.2	▲2.8	+4.4	+1.8	+1.0
メキシコペソ	11.100	▲0.9	▲0.6	▲1.3	+2.1	▲0.7	+1.7	▲0.4	▲3.7	▲1.7	▲0.1	+0.9
ブラジルリアル	2.145	+12.7	▲0.4	▲4.3	+2.1	▲6.0	+5.3	+4.0	▲1.9	+3.6	+1.6	+1.5
アルゼンチンペソ	3.038	▲4.9	+1.3	+0.1	+1.2	▲2.2	▲1.2	▲0.1	▲0.3	+1.1	+0.3	+0.3
NZドル	0.628	▲14.0	+1.8	▲2.1	+0.4	▲2.7	+0.7	▲3.9	▲7.0	+3.7	+0.9	+0.4
オーストラリアドル	0.7729	+0.9	+5.5	+0.1	▲1.4	▲0.7	+3.5	▲2.1	▲3.5	+6.0	+2.0	+1.7
韓国ウォン	932.85	+6.6	+2.9	+0.7	+0.7	+2.3	+4.5	▲0.7	▲0.1	+2.9	+0.6	+0.4
台湾ドル	31.390	▲0.6	+3.1	+0.8	+0.1	+2.1	+2.6	▲1.5	▲0.0	+1.7	+1.2	+0.8
シンガポールドル	1.5666	+5.3	+2.8	+0.3	+0.1	+1.7	+2.5	▲0.0	+0.4	+2.1	+0.9	+0.6
タイバーツ	37.90	+4.1	+0.4	▲0.2	▲1.2	+0.5	+5.1	▲0.4	+0.5	+3.5	+0.8	▲0.7
インドネシアルピア	8765	+7.4	+2.6	+0.2	+1.0	+1.9	+4.7	▲0.1	+3.3	+3.1	+1.1	+0.1
インドルピー	44.90	▲3.7	+0.6	▲0.1	▲1.9	+1.9	+2.1	▲0.6	▲0.5	▲0.6	+0.6	+0.0

(注) 為替レートは全て対ドルレート。ただし、ユーロ、豪ドル、NZドルは当該通貨から見たドル建て。
 「変化率」は、直近値までの変化率。すべてプラスは当該通貨の増価を示す。
 「過去の動き」は当該期間の変化率(例：4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。
 直近値以外の単位は%。
 網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)通貨、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)通貨を示す。

(円) ドル・円相場の推移



(ドル) ユーロ・ドル相場の推移



(¥/\$) 円・ドル相場の推移 (月足)



(¥/\$) ドル/ユーロ相場の推移 (月足)



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。

[商品]

	直近値	直近までの変化率			過去の動き							
		1年前～	1月前～	前週末～	月間					週間		
					6カ月前	5カ月前	4カ月前	3カ月前	2カ月前	1カ月前	3週前	2週前
WT I	72.04	+48.4	+5.0	+2.6	▲4.2	+6.5	+11.3	▲9.6	+8.5	+5.8	▲6.2	▲0.4
北海ブレント	72.32	+49.6	+3.5	+1.9	▲5.2	+7.1	+11.9	▲6.4	+6.7	+9.3	▲3.4	▲1.5
ドバイ	67.87	+53.7	+5.6	+3.0	▲3.8	+5.4	+12.3	▲4.6	+5.7	+9.5	▲0.4	▲0.4
OPECバスケット	67.02	+39.2	+5.4	+3.0	▲7.5	+4.1	+16.8	▲7.3	+8.3	+8.2	▲1.8	▲0.9
金 (NY)	711.8	+68.6	+19.1	+4.0	+5.9	+4.9	+10.0	▲1.2	+3.2	+12.5	+7.1	+4.6
銅 (NY)	396.65	+172.5	+3.8	+9.8	+9.4	+4.2	+3.4	▲2.0	+13.6	+34.1	+2.7	+8.3
アルミ (NY)	142.90	+71.8	+20.3	+6.7	+7.2	+6.8	+9.9	▲2.2	▲1.1	+12.7	▲1.6	+6.3
小麦 (シカゴ)	401.50	+33.2	+11.4	+11.1	▲4.1	+11.6	+1.2	+7.9	▲6.7	▲0.4	▲1.8	+4.3
大豆 (シカゴ)	177.80	▲9.0	+3.4	+0.3	+1.2	+14.8	▲6.2	▲5.8	+0.2	▲1.0	+0.6	+2.5
コーン (シカゴ)	258.25	+31.6	+9.0	+11.9	▲4.5	+15.1	+1.4	+4.2	+3.5	+1.0	+0.7	▲3.7
CRB	361.75	+22.2	+6.2	+2.8	▲0.6	+5.6	+5.1	▲7.0	+2.7	+5.0	▲2.4	+0.6
JOC	129.98	+17.8	+6.5	+2.6	▲0.2	+1.4	+3.7	▲2.0	+1.1	+3.5	+0.4	+1.2
日経商品指数 (17種)	132.47	+24.8	+3.5	+1.2	+1.8	+2.3	+4.8	+0.0	+2.5	+3.5	+0.8	+0.0
日経商品指数 (国際)	140.32	+43.6	+8.6	+2.1	▲3.0	+6.2	+10.0	▲2.3	+6.2	+7.4	+0.1	+1.3

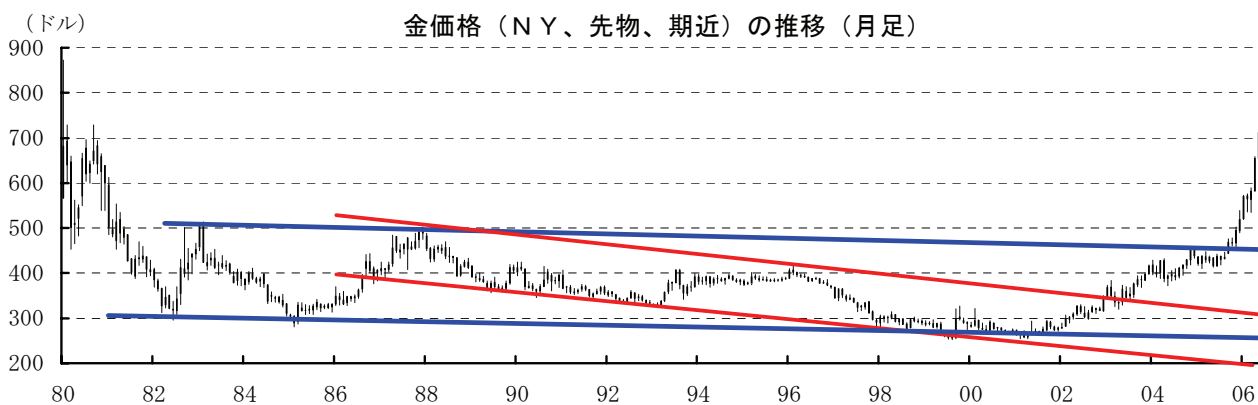
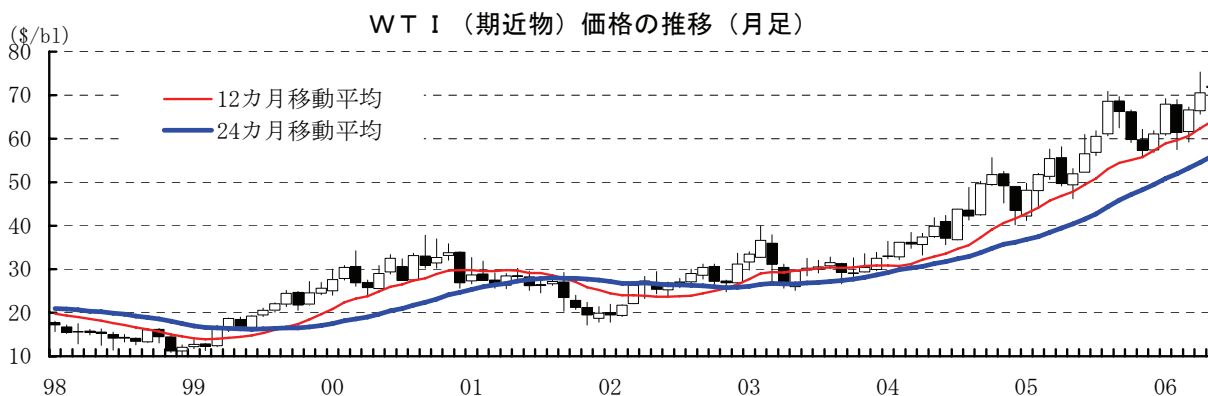
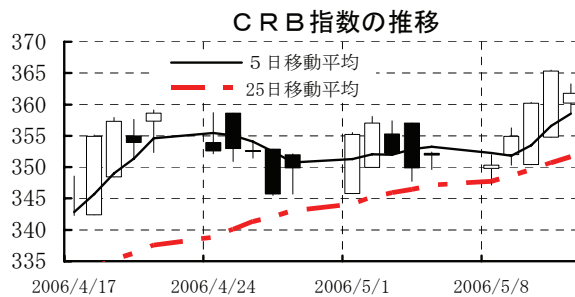
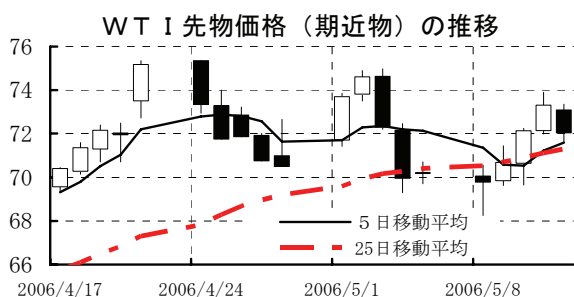
(注) 「変化率」は、直近値までの変化率。プラスは商品価格の上昇を示す。

「過去の動き」は当該期間の変化率(例: 4週前=4週間前の週間変化率、6カ月前=6カ月前の月間変化率)を示す。

直近値以外の単位は%。

OPECバスケット、日経商品指数(国際)は木曜日、日経商品指数(17種)は水曜日の値。

網掛け太字は当該期間で最も上昇率の大きい(下落率の低い)商品、太斜字は最も下落率の大きい(上昇率の低い)商品を示す。



本資料は情報提供を目的として作成されたものであり、投資勧誘を目的としたものではありません。作成時点で、第一生命経済研究所経済調査部が信ずるに足ると判断した情報に基づき作成していますが、その正確性、完全性に対する責任は負いません。見直しは予告なく変更されることがあります。また、記載された内容は、第一生命ないしはその関連会社の投資方針と常に整合的であるとは限りません。